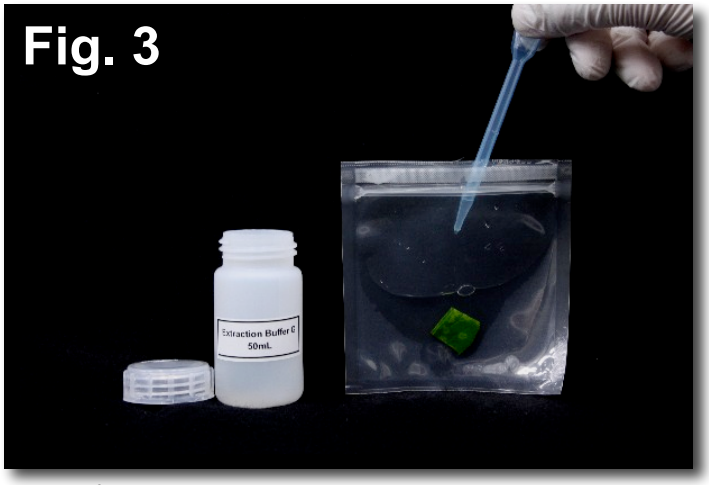
添付資料１

イムノクロマト法キットの利用手順

PPV検出キット

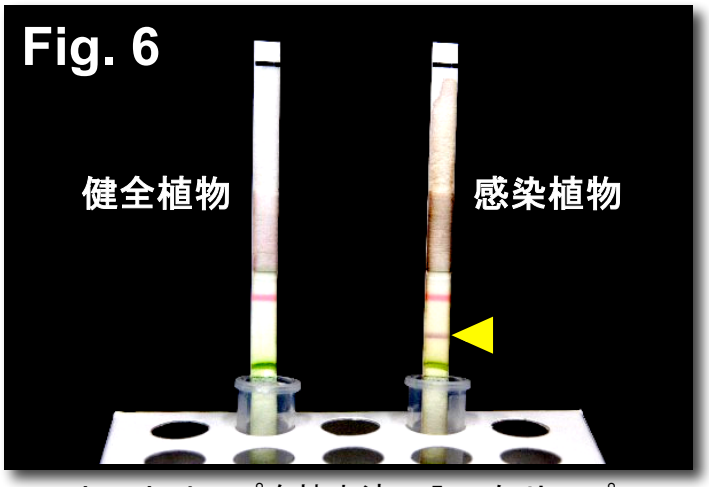
感染が疑われるウメ葉から病徴部を含むサンプル（約2×2cm）を抽出用袋に入れる



サンプルの入った抽出用袋に、スポイトで抽出液を添加する

抽出用袋を閉じ、上から葉をすりつぶす

抽出用袋を開け、抽出液をスポイトでサンプルチューブへ移す

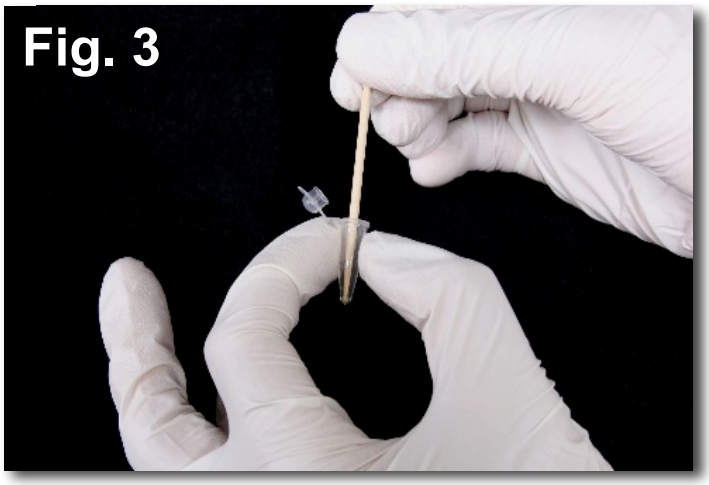


テストストリップを抽出液の入ったサンプルチューブに入れ、15分後に判定する。ラインが２本出ていれば陽性、1本の場合は陰性

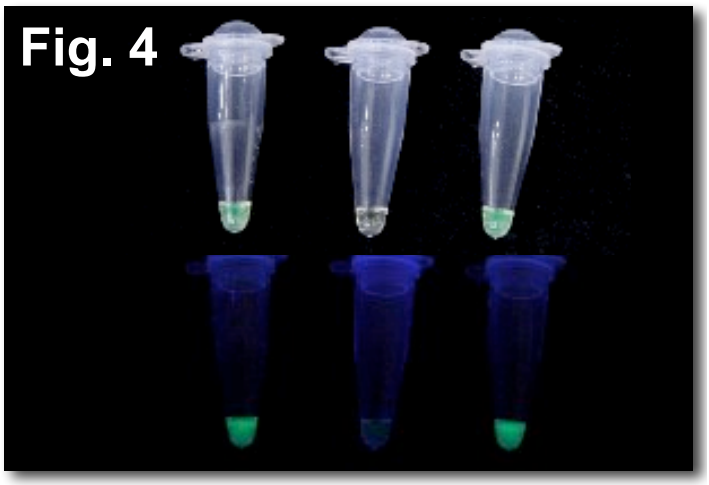
ＬＡＭＰ法キットの利用手順

プラムポックスウイルス検出キット

感染が疑われるウメ葉の病徴部を爪楊枝で突く



反応液を入れたチューブに爪楊枝を入れ63度で30分程度反応する



反応液の蛍光発色によって目視判定する（左：陽性コントロール、中：健全植物、右：感染植物）